事業所名	のぞみ児童デイサービス志度	**支援プログラム**	作成日	令和8 年	7 月	15 日

法人(事業所)理念		障害をもっていても もっていなくても 男も女も「生まれておめでとう 成長しておめでとう 長生きしておめでとう」といえる社会づくりを目ざします。 のぞみ園 「のぞみをもって生きよう」
支援方針		一人ひとりが幸せに過ごせるよう、家族・関係機関と連携して児童の自立支援を支援する。 こどもたちとめざすこと、寄り添いの姿勢 ・やさしく たくましく・自分で考えて行動できる・違いを受け入れ認め合える・自分の思いを言葉や態度で表現できる・話が聞ける ・あいさつができる・できることは自分でする・ルール、マナーが守れる・困ったときに助けを求めることができる 一人ひとりの将来に向けて 「現在をみのがさず みあやまわず 成果をあせらずあきらめず」 保護者とともに
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで ※時間外についても相談に応じます
送迎実施の有無		(あり) なし 終日利用、長期休みを除く
		支 援 内 容
本人支援	健康・生活	毎日の手洗い・うがいを実施し、一人ひとりの健康状態を把握していきます。 基本的生活スキルの獲得清潔な身の回りや食事、衣類の着脱、排泄などの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。 構造化等により生活環境を整えるさまざまな遊びを通して学習できるよう、生活環境を整えます。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し、見通しを持って取り組める工夫をしていきます。
	運動・感覚	様々な活動内容を用いて微細運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整えていきます。 座位学習や体と道具の使い方など個別に合った発達支援を行います。 感覚や認知の特性を考慮し、環境調整などの支援を行い、感覚の偏りに対応します。
	認知・行動	スケジュールを視覚でわかるように掲示し、概念の習得を図ります。 タイムタイマーを用いて、活動の切りかえを視覚と聴覚にて促します。 認知の偏りへの対応 認知の特性を踏まえ、情報処理や認知の偏りに対処し、個々の特性に合った支援を行います。また、こだわりや偏食などにも対応します。
	言語 コミュニケーション	簡単なあいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。 個々に合わせた状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。 指差しや身振り、サインなどを活用して、環境の理解や意思の伝達を支援します。 文字や記号、絵カードなどのコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。
	人間関係 社会性	遊びやグループ活動を通し、自己理解・他者理解を養います。 模倣行動の支援 遊びを通じて模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。 自己の理解とコントロールのための支援自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援します。
家族支援		本人の状況や成長について、個別支援の場面や面談の機会、保護者の迎え時、自宅への送迎時、連絡帳等でお伝えします。また、子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談、子育てや障害等に関する情報提供も行います。
移行支援		本人の状況等を伝えた上、方向性を含め卒業後等、将来に向けて相談していきます。制度や他の事業所等の情報についても提供していきます。また、本児・保護者の意向を確認しながら関係機関と連携を図ります。
地域支援・地域連携		関係機関と連携し、それぞれの機関で得られた情報を共有し本人に合った支援を行います。連携、情報共有し支援方法の統一や支援の方向性の提案を行っていきます。
職員の質の向上		法人内研修(感染症、虐待防止、身体拘束、事例検討など)実施 外部研修(強度行動障害研修や発達障害児(者)支援関係職員研修会等)参加
主な行事等		季節の行事(鏡開き、節分、七夕、夏の水遊び、ハロウィン、クリスマス会など) その他の行事(バス外出、買い物外出、総合防災訓練など)